SII ソフトウェアパッケージ for Windows
インストールガイド

Rev.02

[対象製品]

MP-B21L シリーズ
MP-B30L シリーズ
MP-B30 シリーズ
MP-B20 シリーズ
MP-A40 シリーズ
RP-F10 シリーズ
RP-G10 シリーズ
RP-E10 シリーズ
CAP06 シリーズ
DSP-A01 シリーズ

セイコーインスツル株式会社

Rev.01	2024 年　11 月
Rev.02	2025 年　 1 月

©セイコーインスツル株式会社　2024-2025

無断転載を禁じます。

本書の内容は、断りなく変更することがあります。

本書及び本書に記載された製品の利用によって発生した

損害及びその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いかねます。

この取扱説明書を第三者に無断で頒布することを禁じます。

Microsoft®及び Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国、日本及びその他の国における登録商標です。

Bluetooth® は Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

はじめに

本書は、セイコーインスツル株式会社（以降：SII）が提供するソフトウェアパッケージについて説明します。
本ソフトウェアパッケージは、下記のドライバーやユーティリティを提供します。インストールする場合は、「2章 インストール」を行ってからプリンターの電源を投入してください。

使用するプリンターによって、ソフトウェアパッケージが異なります。

プリンター	ソフトウェアパッケージ	ソフトウェアパッケージに含まれるドライバーやユーティリティ
MP-B21L MP-B30L MP-B30 MP-B20 MP-A40	SII Mobile Printer Software for Windows 以降、このソフトウェアパッケージで利用するプリンターを「Mobile Printer」と称します。	ドライバー ・SII Printer Driver for Windows ・SII OPOS ・SII POS for .NET Service Object SII SDK for Windows SII WEB SDK*1 各種ユーティリティ ・SII Communication Setting Utility ・SII Log Setting Utility ・SII Printer Setting Utility ・SII OPOS Setting Utility ・SII POS for .NET Setting Utility ・SII Web SDK Server*1 ・SII Slideshow Setting Utility*2 ・SII Display Setting Utility*2
RP-F10 RP-G10 RP-E10 DSP-A01	SII POS Printer Software for Windows 以降、このソフトウェアパッケージで利用するプリンターを「POS Printer」と称します。	
CAP06	SII Printer Mechanism Software for Windows 以降、このソフトウェアパッケージで利用するプリンターを「Printer Mechanism」と称します。	

*1: SII Printer Mechanism Software for Windowsには含まれません。
*2: SII POS Printer Software for Windowsにのみ含まれます。

注意

◆ 本ソフトウェアパッケージは、以下の既存ソフトウェアとの併用はできません。

- SII Printer Driver for Windows　バージョン 1.56以前
- RP-E10 Series Printer Driver　バージョン 1.61以前
- MP-A40 Series Printer Software　バージョン 1.4.0以前
- MP-B20 Series SII Printer Driver for Windows　バージョン 1.1.7以前

- (RP-E10シリーズ向け)SII OPOS　バージョン 1.41以前
- SII OPOS　バージョン 1.49以前

- SII POS for .NET Service Object　バージョン 2.05以前
- SII POS for .NET Service Object for Thermal Printer Mechanism　バージョン 1.25以前*1

*1: IFDシリーズまたは、IFMシリーズとCAP06シリーズを併用する場合は、SII POS for .NET Service Object for Thermal Printer Mechanism バージョン1.30 以降を改めてインストールしてください。

◆ 既にインストールされている場合は、本ソフトウェアパッケージのインストール時にアンインストールされます。
また、下記の設定が初期化されます。
・「SII Printer Setting Utility」で設定した「ログ」または「印刷ジョブ」

本書は原則、下記の条件に基づき記載します。
- Windows 10の画面及び表示構成
- マウス及びキーボードによる操作方法

SII Printer Driver for Windows

SII Printer Driver for Windows（以降、プリンタードライバー）は、Windowsアプリケーションから印刷をする際に使用します。

SII OPOS

SII製プリンターを制御するOPOS 第1.14.1版POSプリンターデバイスクラス準拠のOpenPOSコントロールです。

SII POS for .NET Service Object

SII製プリンターを制御するPOS for .NETによって定義されるデバイスクラスのインターフェイスを実装するクラスライブラリです。

SII SDK for Windows

SII製プリンターを直接制御するためのライブラリファイルを含むSoftware Development Kitです。

SII WEB SDK

Webブラウザー上のJavaScriptプログラムから、SII製プリンターで印刷を行うためのライブラリです。

各種ユーティリティ

本ソフトウェアパッケージをインストールすると下記のユーティリティが使用できます。ユーティリティの詳細については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- SII Printer Setting Utility: プリンターの機能設定を行います。
- SII Communication Setting Utility: プリンターの通信設定を行います。
- SII Log Setting Utility: プリンターのログ設定を行います。
- SII OPOS Setting Utility: OPOSの機能設定を行います。
  「SII OPOS アプリケーションプログラマーズガイド」を参照してください。
- SII POS for .NET Setting Utility: POS for .NETの機能設定を行います。
  「SII POS for .NET Service Object アプリケーションプログラマーズガイド」を参照してください。
- SII Web SDK Server: SII Web SDKを使用して、Webブラウザ上のJavaScriptからプリンターで印刷を行います。
  マニュアルはありません。
- SII Slideshow Setting Utility: DSP-A01用のスライドデータの設定を行います。
  マニュアルはありません。
- SII Display Setting Utility: DSP-A01用の機能設定を行います。
  マニュアルはありません。

オペレーティングシステムの略称

本書で使用されているオペレーティングシステムの略称について下記に記載します。

オペレーティングシステム	略称
Microsoft® Windows® 11	Windows 11
Microsoft® Windows® 11 IoT Enterprise	Windows 11（Windows 11 IoT）
Microsoft® Windows® 10	Windows 10
Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise	Windows 10（Windows 10 IoT）
Microsoft® Windows Server® 2022	Windows Server 2022
Microsoft® Windows Server® 2019	Windows 10（Windows Server 2019）
Microsoft® Windows Server® 2016	Windows 10（Windows Server 2016）

参考

- Microsoft® Windows®の全般を指す場合は、「Windows」と称します。

1章　ソフトウェア概要　1-1

1.1　対象製品 1-1
1.2　動作環境 1-3
1.2.1　システム環境 1-3
1.3　起動方法 1-4

2章　インストール　2-1

2.1　インストール 2-2
2.1.1　インストール共通手順 2-2
2.1.2　USB接続でのインストール 2-4
2.1.3　Bluetooth接続でのインストール 2-6
2.1.4　TCP/IP接続でのインストール 2-8
2.1.5　共有プリンターのインストール 2-10
2.2　サイレントインストール 2-12
2.2.1　プリンタードライバー 2-12
2.2.2　OPOS 2-12
2.2.3　POS for .NET 2-14
2.2.4　WEB SDK 2-15
2.2.5　デバイスセットアップ 2-15

3章　アンインストール　3-1

3.1　アンインストール 3-1
3.2　サイレントアンインストール 3-2
3.2.1　MsiExec.exeファイル 3-2
3.2.2　Setup(x64).exeファイル 3-2

1章　ソフトウェア概要

1.1 対象製品

対象製品について記載します。

プリンター	ドライバー名	インターフェイス
MP-B21Lシリーズ	SII MP-B21L	USB※1 Bluetooth※2 TCP/IP※3
MP-B30Lシリーズ	SII MP-B30L	
MP-B30シリーズ	SII MP-B30	
MP-A40シリーズ	SII MP-A40	
RP-F10シリーズ	SII RP-F10/G10	
MP-B20シリーズ	SII MP-B20	USB※1 Bluetooth※2
RP-G10シリーズ	SII RP-F10/G10	USB※1 シリアル※4
CAP06シリーズ	SII CAP06-247	
	SII CAP06-347	
	SII CAP06-245	
RP-E10シリーズ	SII RP-E10	USB※1 Bluetooth※2 TCP/IP※3 シリアル※4
DSP-A01	SII DSP-A01	–※5

※1:　USBの規格:フルスピード
※2:　Bluetoothのプロファイル:SPP
※3:　TCP/IPのプロトコル:Raw
※4:　シリアルの規格:RS-232C
※5:　ディスプレイの接続方法によって変わります。詳細については、「SII Display Setting Utility for Windows 取扱説明書」の「1.1 対象製品」を参照してください。

注意

◆ Bluetooth接続の場合：

- 動作条件は下記の通りです。
  ・対象のプリンターが他のコンピューターとBluetooth接続されていないこと
  ・マイクロソフト社のシステム標準ドライバーを利用していること
  ・Bluetooth接続でのインストール時に生成される仮想シリアルポートを経由して接続できること
- Windows Server 2022、2019及び2016はBluetooth通信をサポートしていません。

◆ TCP/IP接続の場合：

- Rawプロトコルのみサポート（LPRの指定は無視）します（ただし、双方向サポートが無効の場合を除く）。
- 9100番、及び26100番のソケットポートを使用します。ファイアーウォールを導入する場合、これらのポートの接続を許可する設定で利用してください。

参考

- 動作確認済みのBluetooth環境については、弊社までお問い合わせください。

1.2 動作環境

1.2.1 システム環境

項目	種類	ドライバー			SII SDK	SII WEB SDK	ユーティリティ					
		プリンタードライバー	SII OPOS	SII POS for .NET Service Object			SII Communication Setting Utility	SII Log Setting Utility SII Printer Setting Utility SII Display Setting Utility	SII OPOS Setting Utility	SII POS for .NET Setting Utility	SII Web SDK Server	SII Slideshow Setting Utility
オペレーティングシステム	Windows 11	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	Windows 11 IoT	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	Windows 10	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	Windows 10 IoT	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	Windows Server 2022	✓	—	—	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	✓
	Windows Server 2019	✓	—	—	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	✓
	Windows Server 2016	✓	—	—	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	✓
.NET Framework*1	.NET Framework 2.0～3.5	✓	—	✓	✓	—	✓	—	—	✓	—	—
	.NET Framework 4.0～4.8	✓	—	✓	✓	✓*3	✓	—	—	✓	✓*3	✓
Microsoft POS for .NET SDK*1	POS for .NET 1.12	—	—	✓*2	—	—	—	—	—	✓*2	—	—
	POS for .NET 1.14.1	—	—	✓	—	—	—	—	—	✓	—	—

*1: 本ソフトウェアパッケージをインストールする前にインストールしてください。
*2: MP-B21Lはサポートしていません。
*3: .NET Framework 4.6.2以上をサポートしています。

また、「OpenPOS Application Programmer's Guide 日本版仕様書 第1.14.1版」及び「Microsoft Point of Service for .NET – POS for .NET v1.12（またはv1.14.1） SDK Documentation」も合わせて参照してください。

注意

◆ Modern UIはサポートしていません。

1.3 起動方法

本ソフトウェアパッケージをインストールした後は、下記の方法で各種ユーティリティを起動してください。インストールについては「2章 インストール」を参照してください。

スタートメニューまたはスタート画面から起動

- Windows 11の場合

  スタートメニューから[すべてのアプリ] – [SII Printer Software]を選択し、該当するユーティリティを選択してください。

- Windows 10及びWindows Server 2022の場合

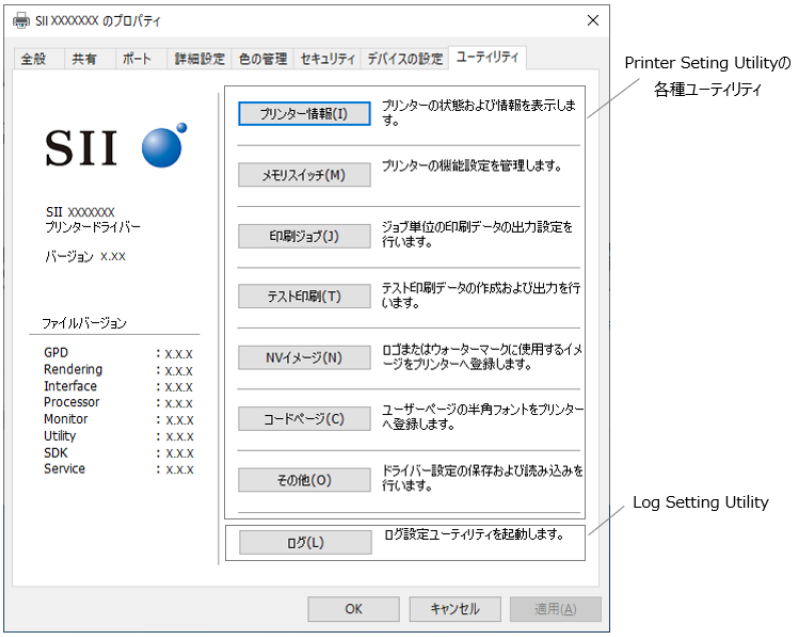
  スタートメニューから[SII Printer Software]を選択し、該当するユーティリティを選択してください。

> 参考
>
> - DSP-A01はプリンター経由で使用する場合と、ディスプレイ単体で使用する場合で起動時のプリンター名が変わります。DSP-A01の起動については、「SII Display Setting Utility for Windows取扱説明書」を参照してください。

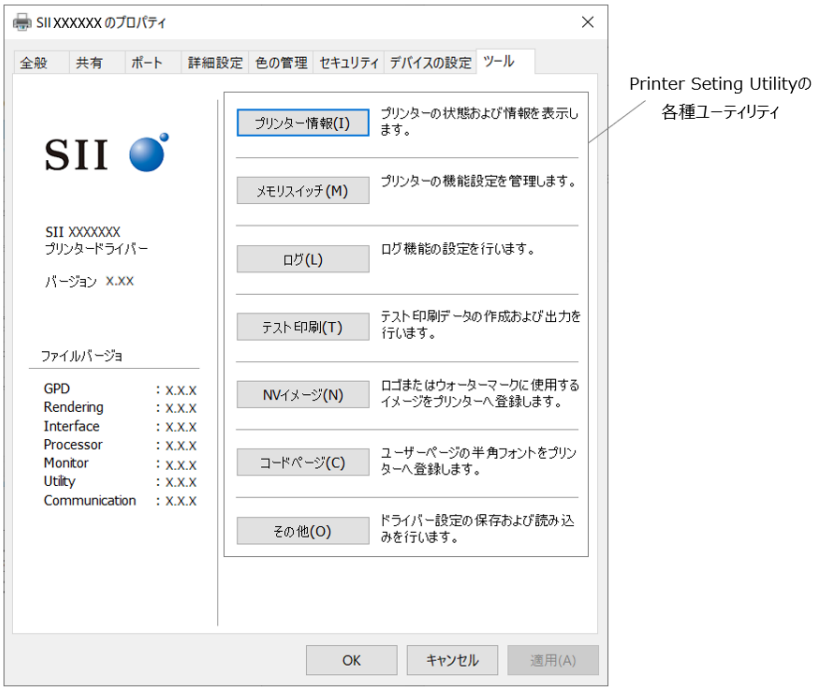
プリンターのプロパティから起動

1. [プリンターフォルダー]内に表示されているプリンターアイコンを右クリックしてサブメニューを表示してください。
2. 表示されたサブメニューから[プリンターのプロパティ(P)]を選択してください。
3. [プリンターのプロパティ]画面の[ユーティリティ]または[ツール]タブを選択し、下記の画面を表示して該当するメニューをクリックしてください。

MP-B21L、MP-B30L、MP-B30、RP-F10、RP-G10、CAP06 は、Printer Setting Utility の各種ユーティリティ及び Log Setting Utility が選択できます。



MP-B20、MP-A40、RP-E10 は、Printer Setting Utility の各種ユーティリティが選択できます。



2章　インストール

本章ではインストール手順を説明します。

注意

◆ インストールにはコンピューターの管理者権限が必要です。

参考

- 本プリンタードライバーを利用する複数のプリンターをインストールする場合、2回目以降のインストールはインストール済みのプログラム[Add Printer]から行ってください。
  [Add a Printer]は下記から起動できます。
  - ◆ Windows 11の場合
    スタートメニューから、[すべてのアプリ] – [SII Printer] – [Add Printer]を選択してください。
  - ◆ Windows 10及びWindows Server 2022の場合
    スタートメニューから、[SII Printer] – [Add Printer]を選択してください。
- DSP-A01をプリンター経由で使用する場合、インストール時はDSP-A01をサポートするプリンターを設定してください。
  DSP-A01をディスプレイ単体で使用する場合、インストール時はDSP-A01をサポートするプリンターを設定してください。その後、DSP-A01とコンピューターをUSBケーブルで接続してください。USBケーブルを再度接続する際は、インストールした時と同一のUSBポートに接続してください。

2.1 インストール

新規インストール方法について説明します。

注意

◆ 同一の通信ポートに複数のプリンターをインストールしないでください。

2.1.1 インストール共通手順

下記に各接続で共通するインストール開始手順について説明します。

1. [インストーラー起動]画面が表示されたら、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。

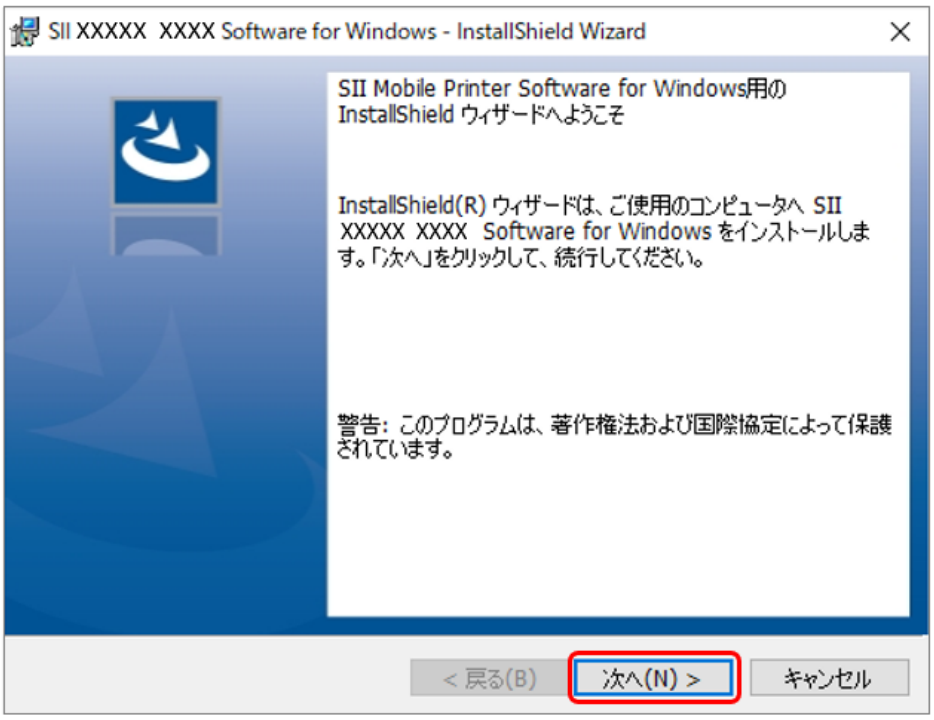


図 2-1 [インストーラー起動]画面

2. [ソフトウェア使用許諾契約書]が表示されたら、内容を確認して「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。

3. [セットアップタイプ選択]画面が表示されたら、「完全(C)」を選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。
プリンタードライバー以外の機能をインストールしない場合は「カスタム(S)」を選択し、表示に沿ってインストールするプログラムの機能を選択してください。

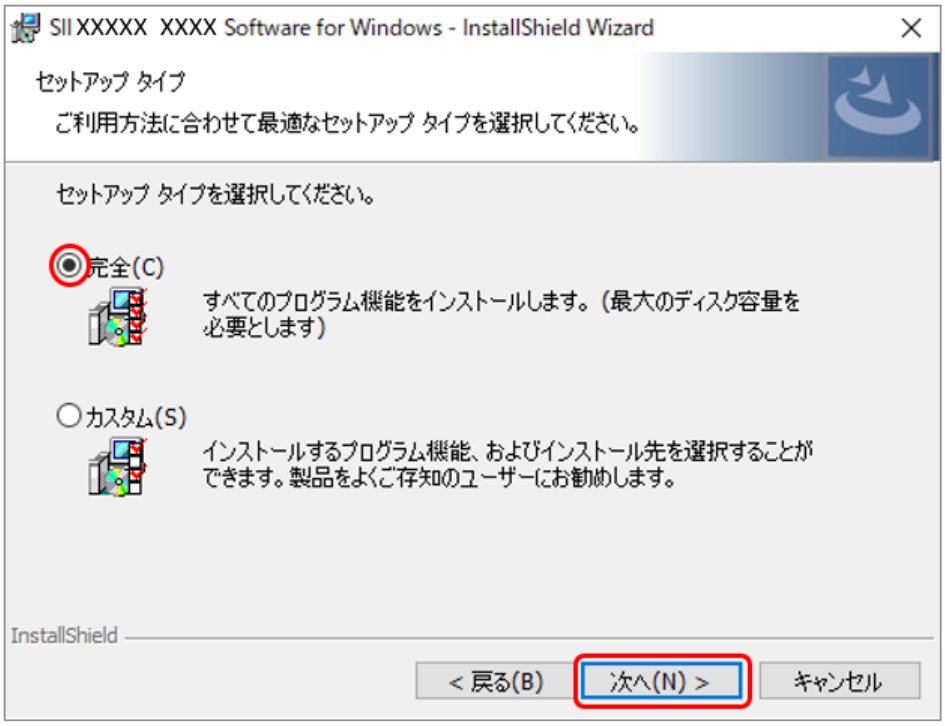


図 2-2 [セットアップタイプ選択]画面

4. [インストール確認]画面が表示されたら、[インストール(I)]ボタンをクリックしてください。

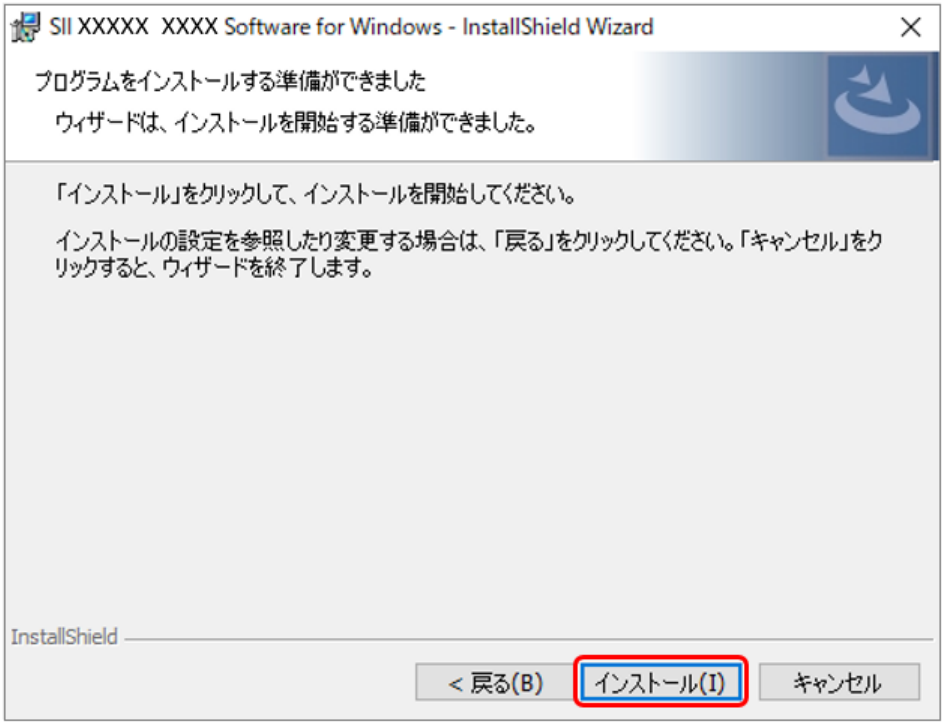


図 2-3 [インストール確認]画面

以降の手順についてはプリンターとの接続方式により異なります。接続方式がUSB接続の場合は、「2.1.2 USB接続でのインストール」、Bluetooth接続の場合は、「2.1.3 Bluetooth接続でのインストール」、TCP/IP接続の場合は、「2.1.4 TCP/IP接続でのインストール」、共有プリンターを使用する場合は、「2.1.5 共有プリンターのインストール」へ進んでください。

2.1.2 USB接続でのインストール

USB接続でのインストール手順について説明します。

注意

◆ USB接続の場合、本書の指示があるまではプリンターの電源は切っておいてください。

5. [完了]画面が表示されたら、[完了(F)]ボタンをクリックしてください。

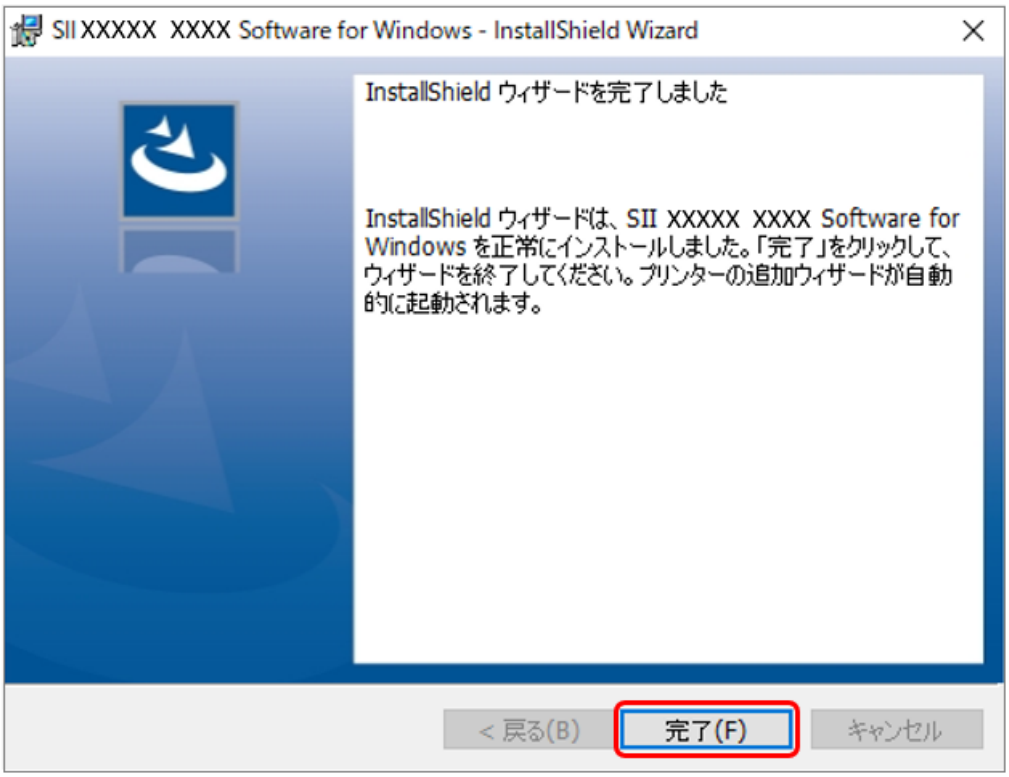


図 2-4 [完了]画面(USB接続)

6. 「プリンターの追加」画面が表示されたら、モデル名とインターフェイスを選択し、[次へ(N)]ボタンをクリックしてください。

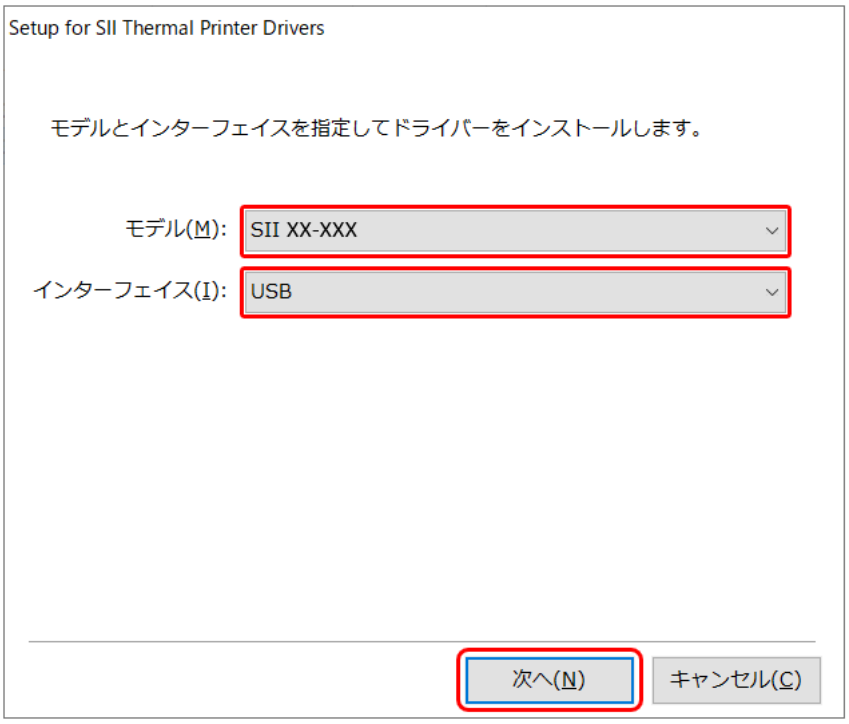


図 2-5 [プリンターの追加]画面(USB接続)

7. プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続し、プリンターの電源を入れてください。[プリンターのインストール]画面にプリンターが表示されるので、該当するプリンターを選択し、[インストール(I)]ボタンをクリックしてください。

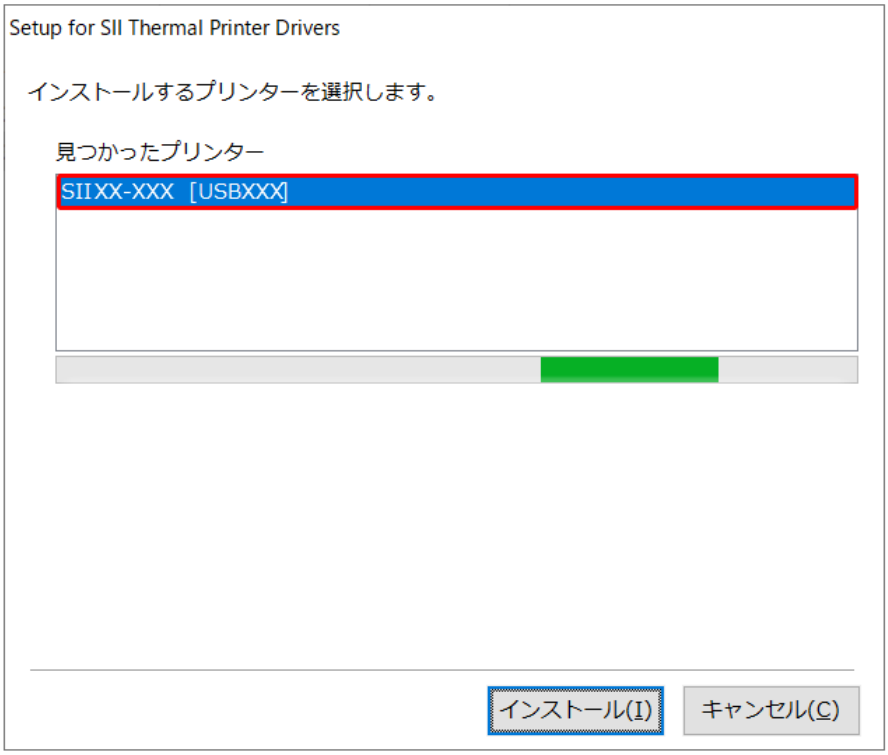


図 2-6 [プリンターのインストール]画面(USB接続)

8. 選択されたモデルとインターフェイスの情報を使用して、自動でOPOSドライバー及びPOS for .NETドライバーの設定情報を作成します。
   設定値の参照、変更をする場合は、下記のマニュアルを参照してください。
   ・OPOS:　　SII OPOS アプリケーションプログラマーズガイド
   ・POS for .NET:　SII POS for .NET Service Object アプリケーションプログラマーズガイド

注意

◆ プリンタードライバーのインストール完了後に取り外したUSBケーブルを再度接続する場合は、インストールした時と同一のUSBポートに接続してください。USBポートの位置を変更すると、コンピューター側で別のプリンターを接続したと認識し、再びプリンタードライバーのインストール要求が発生します。

2.1.3 Bluetooth接続でのインストール

注意

◆ Bluetooth接続では、複数台のホストから同時に利用することは出来ません。
◆ Bluetooth接続の場合、本書の指示があるまではプリンターの電源は切っておいてください。

Bluetooth接続でのインストール手順について説明します。

5. [完了]画面が表示されたら、[完了(F)]ボタンをクリックしてください。

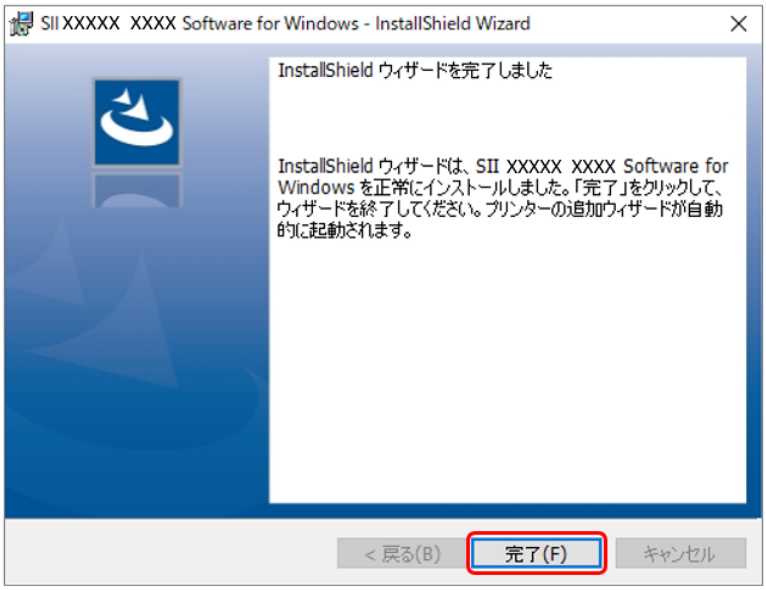


図 2-7 [完了]画面(Bluetooth接続)

6. [プリンターの追加]画面が表示されたら、モデルとインターフェイスを選択し、[次へ(N)]ボタンをクリックしてください。

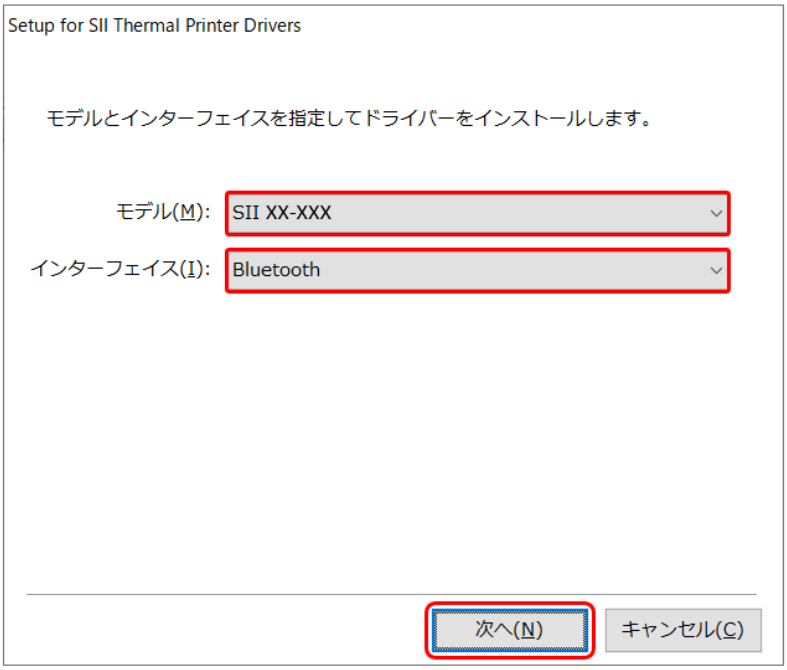


図 2-8 [プリンターの追加]画面(Bluetooth接続)

7. [プリンターのインストール]画面が表示されたら、プリンターの電源スイッチを7秒以上押し続けてください。
プリンターがペアリングモードになると、[プリンターのインストール]画面にプリンターが表示されるので、該当するプリンターを選択し、[インストール(I)]ボタンをクリックしてください。
プリンタードライバーがインストールされます。

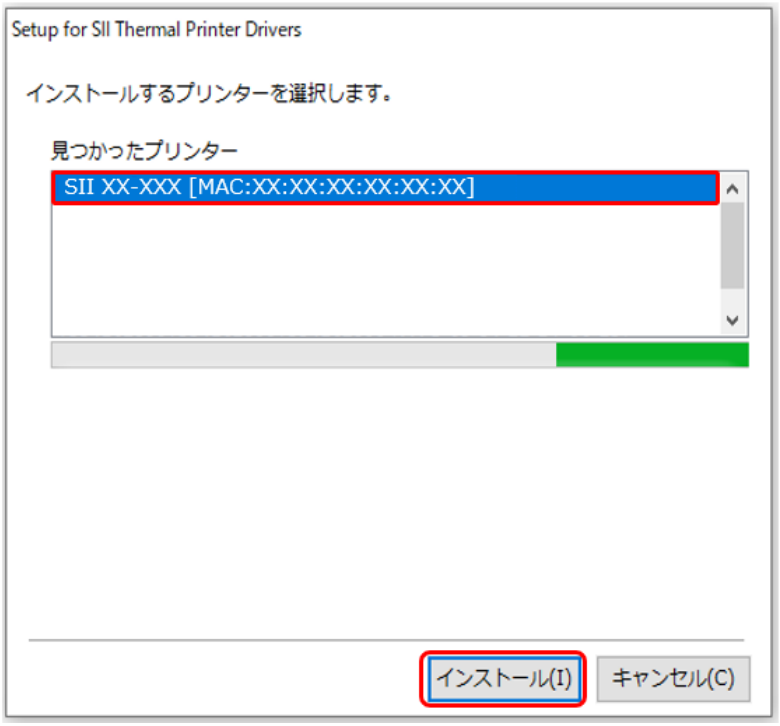


図 2-9 [プリンターのインストール]画面(Bluetooth接続)

8. 選択されたモデルとインターフェイスの情報を使用して、自動でOPOSドライバー及びPOS for .NETドライバーの設定情報を作成します。
   設定値の参照、変更をする場合は、下記のマニュアルを参照してください。
   ・OPOS:　　SII OPOS アプリケーションプログラマーズガイド
   ・POS for .NET:　SII POS for .NET Service Object アプリケーションプログラマーズガイド

2.1.4 TCP/IP接続でのインストール

TCP/IP接続でのインストール手順について説明します。

5. [完了]画面が表示されたら、[完了(F)]ボタンをクリックしてください。

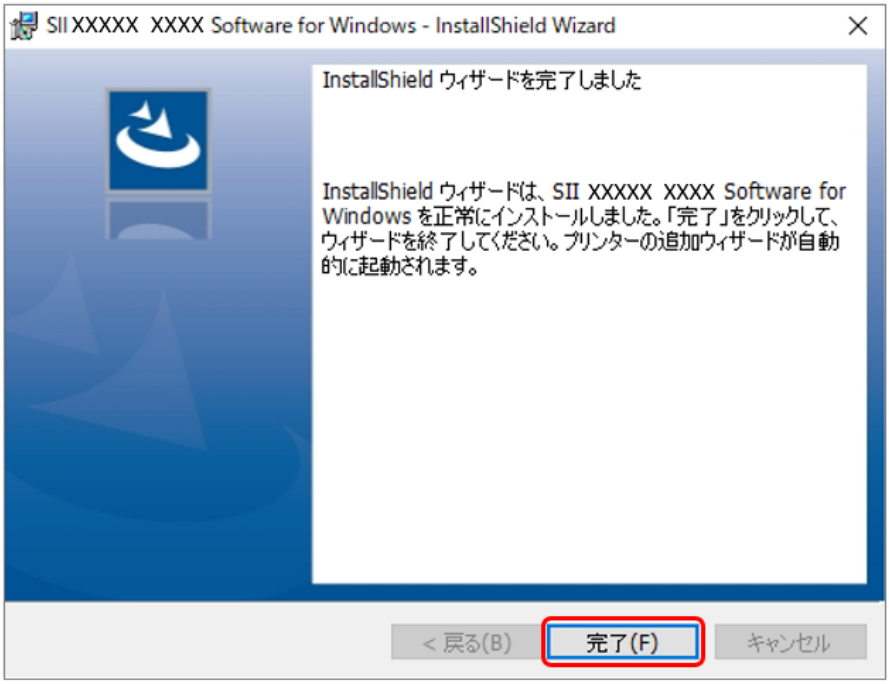


図 2-10 [完了]画面(TCP/IP接続)

6. [プリンターの追加]画面が表示されたら、モデルとインターフェイスを選択し、[次へ(N)]ボタンをクリックしてください。

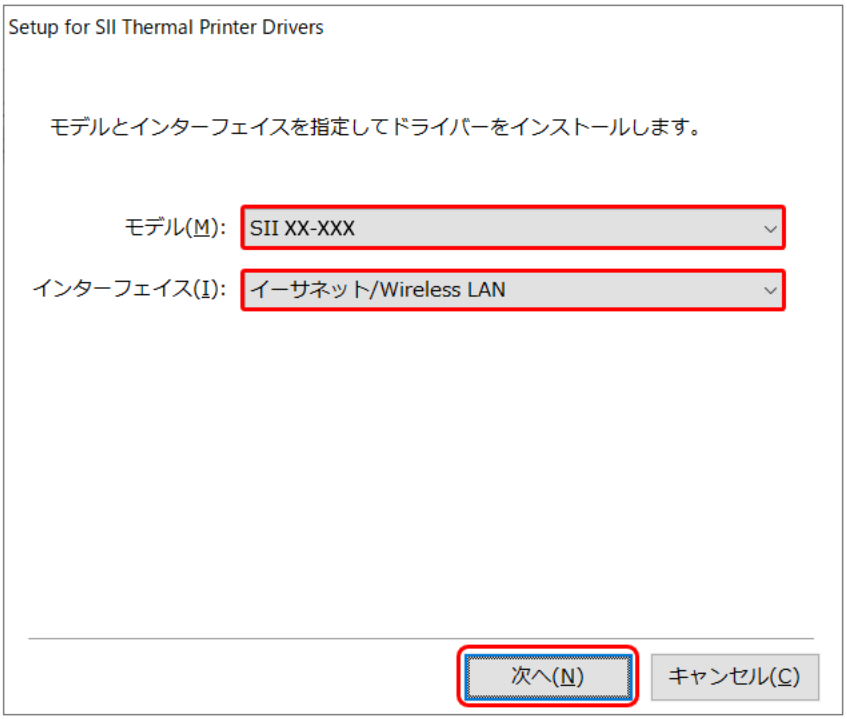


図 2-11 [プリンターの追加]画面(TCP/IP接続)

7. [プリンターのインストール]画面にプリンターが表示されたら、下記のどちらかを選択し、[インストール(I)]ボタンをクリックしてください。プリンタードライバーがインストールされます。
   7-1. 該当するプリンターを選択する。
   7-2. [手動で入力をする(M)]のチェックボックスをオンにして、IPアドレス及びポート名を入力する。

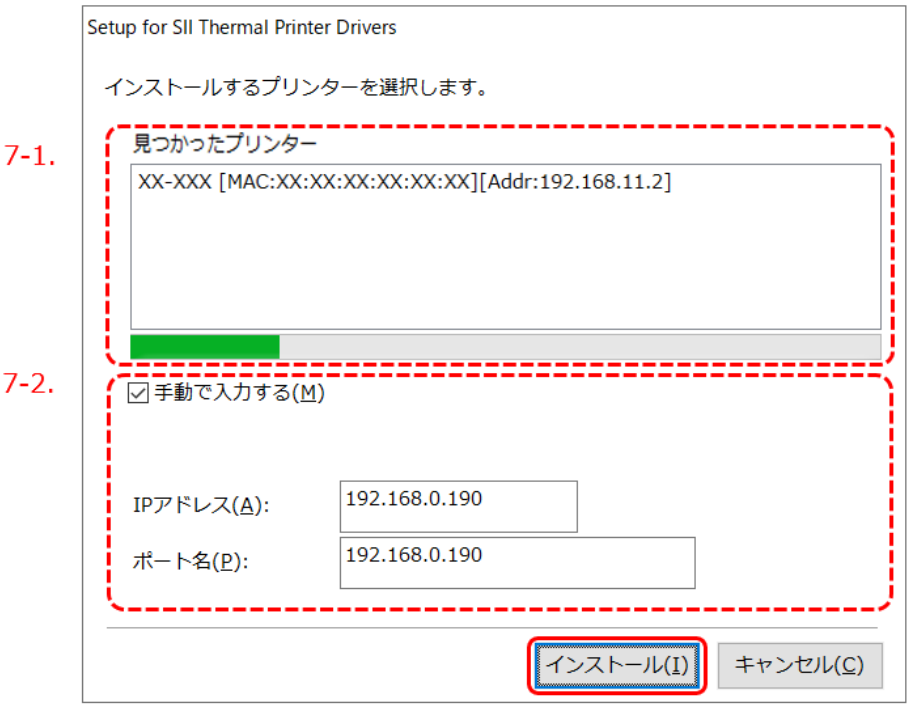


図 2-12 [プリンターのインストール]画面(TCP/IP接続)

8. 選択されたモデルとインターフェイスの情報を使用して、自動でOPOSドライバー及びPOS for .NETドライバーの設定情報を作成します。
   設定値の参照、変更をする場合は、下記のマニュアルを参照してください。
   ・OPOS:　　SII OPOS アプリケーションプログラマーズガイド
   ・POS for .NET:　SII POS for .NET Service Object アプリケーションプログラマーズガイド

2.1.5 共有プリンターのインストール

共有プリンターのインストール手順について説明します。

5. [完了]画面が表示されたら、[完了(F)]ボタンをクリックしてください。

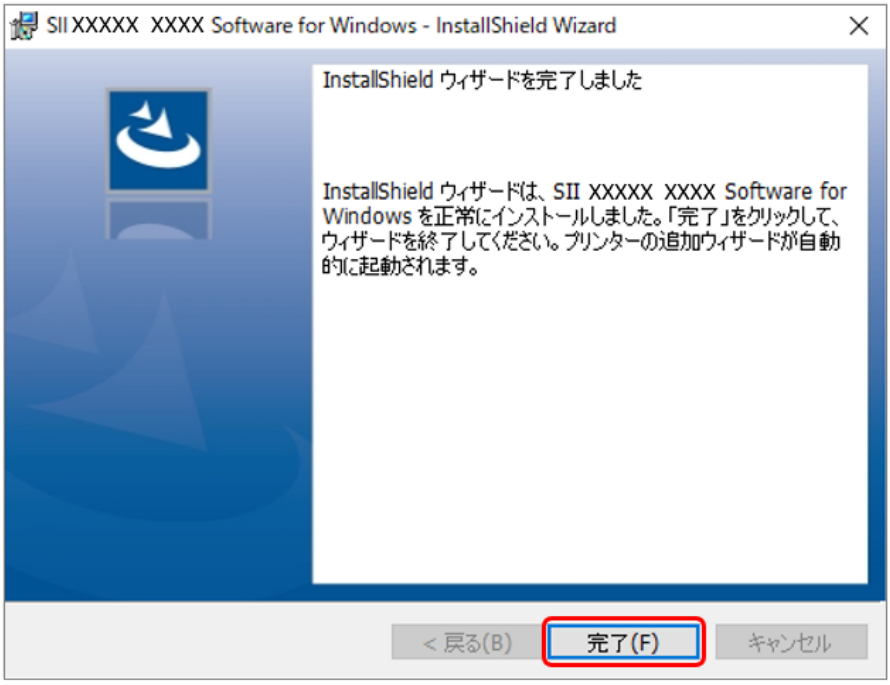


図 2-13 [完了]画面(共有プリンター)

6. [プリンターの追加]画面が表示されたら、モデルとインターフェイスを選択し、[次へ(N)]ボタンをクリックしてください。

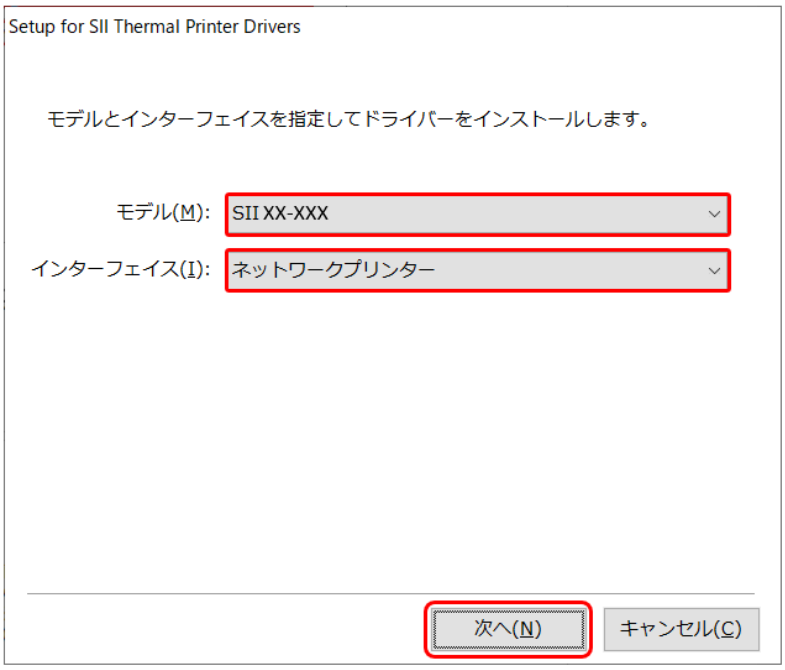


図 2-14 [プリンターの追加]画面(共有プリンター)

7. [プリンターのインストール]画面にプリンターが表示されたら、下記のどちらかを選択し、[インストール(I)]ボタンをクリックしてください。プリンタードライバーがインストールされます。
   7-1. 該当するプリンターを選択する。
   7-2. [手動で入力をする(M)]のチェックボックスをオンにして、ネットワークプリンター名を入力する。



図 2-15 [プリンターのインストール]画面(共有プリンター)

2.2 サイレントインストール

サイレントインストールについて説明します。

注意

◆ 引数の /v(スラッシュv)の後ろにスペースを入れないでください。
◆ ADDLOCALで機能を指定する場合は、空白文字を含めないでください。

参考

- サイレントモードでインストールする際に、インストーラのGUIは表示されませんが、Windows のアカウント制御確認のダイアログが表示されます。
- コマンドでは大文字と小文字を区別します。

2.2.1 プリンタードライバー

サイレントモードでインストールする際のコマンドは下記の書式となります。

32bit OSの場合 : setup.exe /s /v"/qn"
64bit OSの場合 : setup64.exe /s /v"/qn"

続けて、「2.2.5 デバイスセットアップ」を参照し、サイレントインストール後のデバイスセットアップを行ってください。

2.2.2 OPOS

サイレントモードでインストールする際のコマンドは下記の書式となります。

1) Mobile Printer

32bit OSの場合 : setup.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x86,Drv,Drv_Mbl_x86,Drv_x86,SDK,
SDK_W32_x86,SDK_W32_MLT_x86,Utl,Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x86,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,
SDK,SDK_W32_MLT_x86,OPOS,OPOS_Std,OPOS_Prn,OPOS_Prn_Mbl"

64bit OSの場合 : setup64.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x64,Drv,Drv_Mbl_x64,Drv_x64,SDK,
SDK_W32_x64,SDK_W32_MLT_x64,Utl,Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x64,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,
Utl_Dev_Prn_x64,OPOS,OPOS_Std,OPOS_Prn,OPOS_Prn_Mbl"

2) POS Printer

32bit OSの場合 : setup.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x86,Drv,Drv_Pos_x86,Drv_x86,Drv_Rpe1_x86,
SDK,SDK_W32_x86,SDK_W32_MLT_x86,SDK_W32_LAPI_x86,Utl,Utl_Com,Utl_Log,
Utl_Log_x86,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,Utl_Dev_Prn_RPE1_x86,OPOS,OPOS_Std,OPOS_Prn,
OPOS_Prn_POS,OPOS_Prn_POS_RPE114,OPOS_Drw,OPOS_Drw_POS,
OPOS_Drw_POS_RPE114,OPOS_Dsp,OPOS_Scn"

64bit OSの場合 : setup64.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x64,Drv,Drv_Pos_x64,Drv_x64,
Drv_Rpe1_x64,SDK,SDK_W32_x64,SDK_W32_MLT_x64,SDK_W32_LAPI_x64,Utl,Utl_Com,
Utl_Log,Utl_Log_x64,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,Utl_Dev_Prn_x64,Utl_Dev_Prn_RPE1_x64,OPOS,
OPOS_Std,OPOS_Prn,OPOS_Prn_POS,OPOS_Prn_POS_RPE114,OPOS_Drw,
OPOS_Drw_POS,OPOS_Drw_POS_RPE114,OPOS_Dsp,OPOS_Scn"

3) Printer Mechanism

32bit OSの場合 : setup.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x86,Drv,Drv_Mch_x86,Drv_x86,SDK,
SDK_W32_x86,SDK_W32_MLT_x86,Utl,Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x86,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,
OPOS,OPOS_Std,OPOS_Prn,OPOS_Prn_Mch,OPOS_Drw,OPOS_Drw_Mch"

64bit OSの場合 : setup64.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x64,Drv,Drv_Mch_x64,Drv_x64,SDK,
SDK_W32_x64,SDK_W32_MLT_x64,Utl,Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x64,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,
Utl_Dev_Prn_x64,OPOS,OPOS_Std,OPOS_Prn,OPOS_Prn_Mch,OPOS_Drw,
OPOS_Drw_Mch"

コマンド例を下記に示します。

• サイレントモードですべての機能をインストールする場合

32bit OSの場合 : setup.exe /s /v"/qn"

64bit OSの場合 : setup64.exe /s /v"/qn"

• サイレントモードでMobile Printerをインストールする場合

32bit OSの場合 : setup.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x86,Drv,Drv_Mbl_x86,Drv_x86,Utl,
Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x86,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,OPOS,OPOS_Std,OPOS_Prn,
OPOS_Prn_Mbl"

64bit OSの場合 : setup64.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x64,Drv,Drv_Mbl_x64,Drv_x64,Utl,
Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x64,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,Utl_Dev_Prn_x64,OPOS,
OPOS_Std,OPOS_Prn,OPOS_Prn_Mbl"

続けて、「2.2.5 デバイスセットアップ」を参照し、サイレントインストール後のデバイスセットアップを行ってください。

2.2.3 POS for .NET

サイレントモードでインストールする際のコマンドは下記の書式となります。

1) Mobile Printer

32bit OSの場合 : setup.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x86,Drv,Drv_Mbl_x86,Drv_x86,SDK,
SDK_W32_x86,SDK_W32_MLT_x86,Utl,Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x86,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,
POSNet,POSNet_Std,POSNet_Prn,POSNet_Prn_Mbl"

64bit OSの場合 : setup64.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x64,Drv,Drv_Mbl_x64,Drv_x64,SDK,
SDK_W32_x64,SDK_W32_MLT_x64,Utl,Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x64,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,
Utl_Dev_Prn_x64,POSNet,POSNet_Std,POSNet_Prn,POSNet_Prn_Mbl"

2) POS Printer

32bit OSの場合 : setup.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x86,Drv,Drv_Pos_x86,Drv_x86,Drv_Rpe1_x86,
SDK,SDK_W32_x86,SDK_W32_MLT_x86,SDK_W32_LAPI_x86,Utl,Utl_Com,Utl_Log,
Utl_Log_x86,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,Utl_Dev_Prn_RPE1_x86,POSNet,POSNet_Std,
POSNet_Prn,POSNet_Prn_Pos,POSNet_Prn_Pos_RPE1,POSNet_Dsp,POSNet_Scn"

64bit OSの場合 : setup64.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x64,Drv,Drv_Pos_x64,Drv_x64,
Drv_Rpe1_x64,SDK,SDK_W32_x64,SDK_W32_MLT_x64,SDK_W32_LAPI_x64,Utl,Utl_Com,
Utl_Log,Utl_Log_x64,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,Utl_Dev_Prn_x64,Utl_Dev_Prn_RPE1_x64,
POSNet,POSNet_Std,POSNet_Prn,POSNet_Prn_Pos,POSNet_Prn_Pos_RPE1,
POSNet_Dsp,POSNet_Scn"

3) Printer Mechanism

32bit OSの場合 : setup.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x86,Drv,Drv_Mch_x86,Drv_x86,SDK,
SDK_W32_x86,SDK_W32_MLT_x86,Utl,Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x86,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,
POSNet,POSNet_Std,POSNet_Prn,POSNet_Prn_Mch"

64bit OSの場合 : setup64.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x64,Drv,Drv_Mch_x64,Drv_x64,SDK,
SDK_W32_x64,SDK_W32_MLT_x64,Utl,Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x64,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,
Utl_Dev_Prn_x64,POSNet,POSNet_Std,POSNet_Prn,POSNet_Prn_Mch"

コマンド例を下記に示します。

• サイレントモードですべての機能をインストールする場合

32bit OSの場合 : setup.exe /s /v"/qn"

64bit OSの場合 : setup64.exe /s /v"/qn"

• サイレントモードでMobile Printerをインストールする場合

32bit OSの場合 : setup.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x86,Drv,Drv_Mbl_x86,Drv_x86,Utl,
Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x86,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,POSNet,POSNet_Std,
POSNet_Prn,POSNet_Prn_Mbl"

64bit OSの場合 : setup64.exe /s /v"/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x64,Drv,Drv_Mbl_x64,Drv_x64,Utl,
Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x64,Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,Utl_Dev_Prn_x64,
POSNet,POSNet_Std,POSNet_Prn,POSNet_Prn_Mbl"

続けて、「2.2.5 デバイスセットアップ」を参照し、サイレントインストール後のデバイスセットアップを行ってください。

2.2.4 WEB SDK

サイレントモードでインストールする際のコマンドは下記の書式となります。

1) Mobile Printer、POS Printer

32bit OSの場合 ： setup.exe /s /v″/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x86,Utl,Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x86,
Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,WebSDK,WebSDK_JS,WebSDK_Man,WebSDK_Smp,WebSDK_Svr″

64bit OSの場合 ： setup64.exe /s /v″/qn ADDLOCAL=Srv,Srv_x64,Utl,Utl_Com,Utl_Log,Utl_Log_x64,
Utl_Dev,Utl_Dev_Prn,Utl_Dev_Prn_x64,WebSDK,WebSDK_JS,WebSDK_Man,WebSDK_Smp,
WebSDK_Svr″

2.2.5 デバイスセットアップ

サイレントインストール後のデバイスセットアップの方法を下記に説明します。

- **USB の場合**

  プリンターを接続してください。管理者モードでコマンドプロンプトを起動し、下記のプリンタードライバーの追加コマンドを実行してください。

- **WLAN の場合**

  TCP/IPポートを作成してください。管理者モードでコマンドプロンプトを起動し、下記のプリンタードライバーの追加コマンドを実行してください。

- **Bluetooth の場合**

  ペアリングをしてください。管理者モードでコマンドプロンプトを起動し、下記のプリンタードライバーの追加コマンドを実行してください。

- **シリアルの場合**

  管理者モードでコマンドプロンプトを起動し、下記のプリンタードライバーの追加コマンドを実行してください。

プリンタードライバーの追加コマンドを下記に示します。

32bit OSの場合 ： C:¥Program Files¥SII¥PrinterDriver¥SPSWA_CA3_32.exe /m ″SII XX-XXX″ /p ″ポート名″
64bit OSの場合 ： C:¥Program Files(x86)¥SII¥PrinterDriver¥SPSWA_CA3_64.exe /m ″SII XX-XXX″ /p ″ポート名″

デフォルトの設定以外を使用したい場合は、別途設定内容を保存した下記形式のファイルを作成し、そのファイルをインポートしてください。

参考

- コマンド中の"SII XX-XXX"には、利用しているドライバー名を入力してください。

OPOS:　　Regファイル

注意

◆ Regファイルとインポート先のドライバー名、ポート名は下記の通り一致している必要があります。

値名"Interface"、値"Driver"の場合は、値名"DriverName"の値と"ドライバー名"を一致させてください。

値名"Interface"、値"Driver"以外の場合は、値名"PortName"の値と"ポート名"を一致させてください。

レジストリの詳細については、OPOSマニュアルの「本ソフトウェアが使用するレジストリについて」の章を参照してください。

POS for .NET:　Xmlファイル

注意

◆ Xmlファイルとインポート先のドライバー名及びポート名は下記の通り一致している必要があります。

属性:name＝"Interface"の属性:value＝"Driver"の場合は、属性:name＝"DriverName"の属性:valueの"属性値"と"ドライバー名"を一致させてください。

属性:name＝"Interface"の属性:value＝"Driver以外"の場合は、属性:name＝"PortName"の属性:valueの"属性値"と"ポート名"を一致させてください。

3章　アンインストール

本章ではアンインストール手順を説明します。

3.1 アンインストール

プリンタードライバーが不要となった場合は、下記の手順でアンインストールを行ってください。

1. コントロールパネルの[プログラムと機能]から「プログラムのアンインストール」をクリックしてください。
2. [プログラムのアンインストールまたは変更]画面が表示されたら、インストールしたインストーラーを選択し、[アンインストール]ボタンをリックしてください。アンインストールが実行されます。

   インストーラーは下記の名称で表示されます。

   - SII Mobile Printer Software for Windows
   - SII POS Printer Software for Windows
   - SII Printer Mechanism Software for Windows

3.2 サイレントアンインストール

サイレントモードでのアンインストールの方法を下記に示します。

実行ファイル	説明
MsiExec.exe	セットアッププログラム（Setup(x64).exe）及びインストール済みのソフトウェアのバージョンにかかわらず実行できます。 「3.2.1 MsiExec.exeファイル」を参照してください。
Setup(x64).exe	お持ちのセットアッププログラム（Setup(x64).exe）とインストール済みのソフトウェアのバージョンが同じ場合に実行できます。 「3.2.2 Setup(x64).exeファイル」を参照してください。

3.2.1 MsiExec.exeファイル

管理者モードでコマンドプロンプトを起動し、次のコマンドを実行してください。

1) Mobile Printer

MsiExec.exe /qn /x {BF02EF20-A225-49EB-97A9-3176E8FCE57F}

2) POS Printer

MsiExec.exe /qn /x {9469DF87-6E76-4B43-94F3-E923F8C2A6B5}

3) Printer Mechanism

MsiExec.exe /qn /x {FAE2CB05-BAD2-4656-AA42-EB49293FF9CB}

注意

◆ 管理者モードのコマンドプロンプトで実行しないとアンインストールはできません。

3.2.2 Setup(x64).exeファイル

管理者モードでコマンドプロンプトを起動し、次のコマンドを実行してください。

32bit OSの場合： setup.exe /s /x /v"/qn"

64bit OSの場合： setup64.exe /s /x /v"/qn"

注意

◆ 引数の /v（スラッシュv）の後ろにスペースを入れないでください。

参考

- 管理者モードのコマンドプロンプトで実行しない場合、Windowsのアカウント制御確認のダイアログが表示されます。
- アンインストールできない場合は、MsiExec.exeファイルを利用したアンインストール方法をお試しください。